

高田援護室長の模型部屋(第14回)

皆さん、あけましておめでとうございます！今年も「高田援護室長の模型部屋」にお付き合いくださいな。2017年も良い年でありますように。

さて、良い子の皆さんはお年玉で何を買ったのでしょうか？ゲーム、おもちゃ、洋服、靴・・・もしかしたら貯金する方もいるのかもしれませんがね。私はこの年末年始休暇は秋葉原に行かなかったので、無駄遣いせず、押入れの中のプラモを作り倒すことにしました。

押入れの中のプラモ片付けなくちゃ。娘達に「ねえ、このガラクタいつ片付くの？」とチクチク言われてます。でも、この「積みプラ」も結構モデラーには「心の栄養」になるんですよ（笑）納得いただける同士の方がいるはず。で、今回は「積みプラ」しているくせに買ってしまった・・・

95式軽戦車(ノモンハン仕様)です。



95式軽戦車は過去の「募集班長の模型部屋」で紹介させてもらっていますが、今回は北満型で下部転輪に小型の補助転輪が付いています。満州地域で栽培されていた「こうりゃん(もろこしの一種)」の畑の畝の凸凹地形に対応するためだといわれています。今回のキットはファインモールドさんのキットで、従来の同社から発売された95式軽戦車のキットと若干の修正が加えられています。当初から撓んだ状態で部品化された履帯等、作る側に配慮されたものとなっていました。

ノモンハン戦は各種文献が出ているので、私の間違った説明よりそちらを参考にさせていただきたいのですが、日本陸軍が初めて戦車戦を行った戦いです。この戦車戦を教訓に近代的な戦車の開発に進めばよかったのですが、・・・皆さん知ってのとおりです。

このキットの発売に合わせて同社からノモンハン戦の日本兵セットが発売となりましたが、いずれ製作の後、この戦車と合わせて紹介できたらいいなと思っています。



キットに加え、別売りのエッチングパーツを使用するほか、特に手は加えてません。部品数も少なく、手がけてから完成するまで一日2時間程度で7日間で完成しました。もっとも、製作できない日もありましたので実際は1ヶ月程度かかりましたけどね。

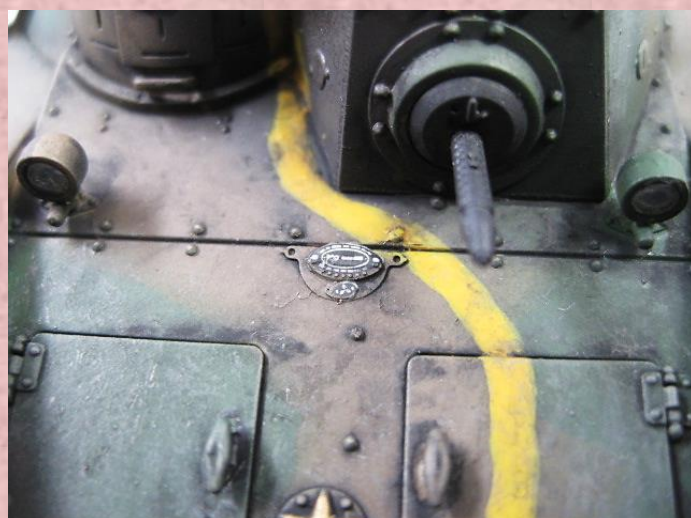


小さな豆タンクですが大戦当初の頃であれば、戦場の歩兵から見れば心強かったと思いますよ。でも、大戦中盤以降、連合軍の戦車や対戦車火器により紙箱のように吹き飛ばされていく日本戦車は悲しい存在でしかなかったかもしれませんね。

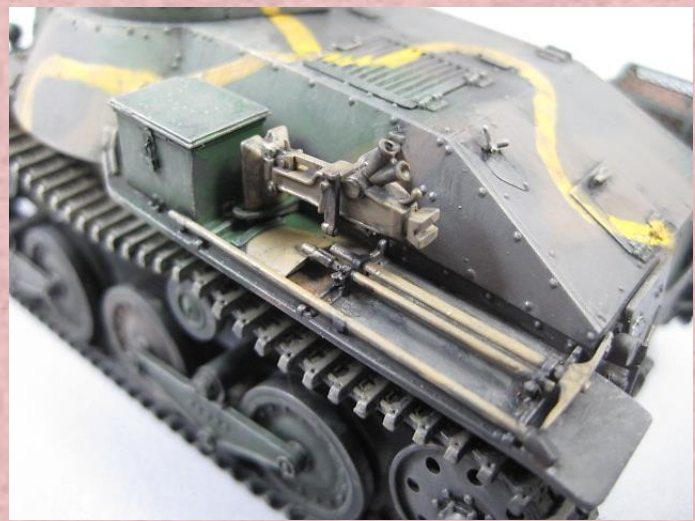
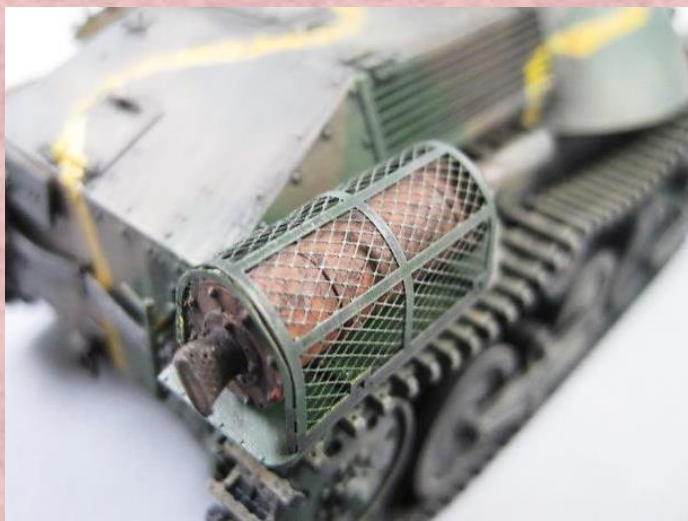
それでも、私は日本の戦車が大好きです。中世の騎士のようなイメージのフォルムだと思うのですが… 皆さんはいかがですか？



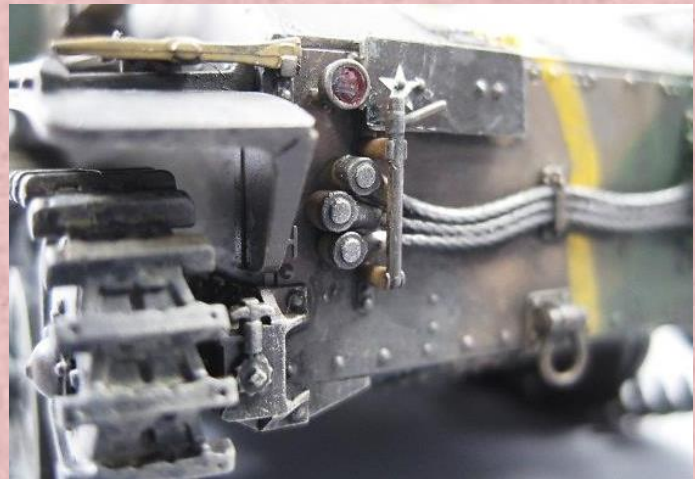
塗装はGSIクレオスの日本戦車色セットを使用して、黄色の線は同社の日本海軍機識別マーク色の黄橙色を使用しました。以前は「キャラクターイエロー」だったのですが試しに使用してみました。悪くないと思いますがいかがでしょうか？



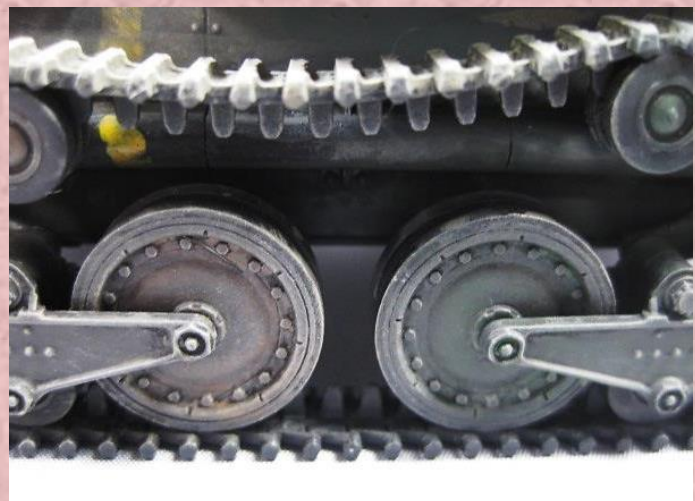
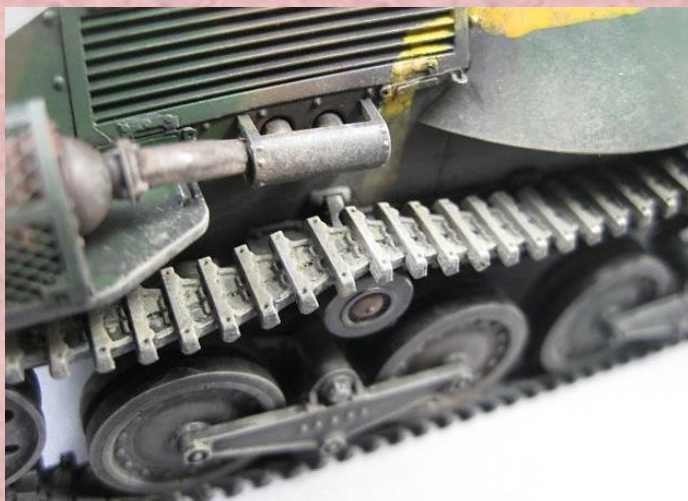
基本塗装後、サクラ水彩マルチ絵の具を塗りたくり、濡れ綿棒で拭き取るという最近のお気に入りの手法です。エナメルスミ入れ塗料だと、プラスチックを侵して脆くしたり不自然な光沢が出たりと結構使いづらいんですね。車体前部の楕円形の銘版は今の自衛隊戦車にもあるんですよ。機会があったら探してみてくださいね。



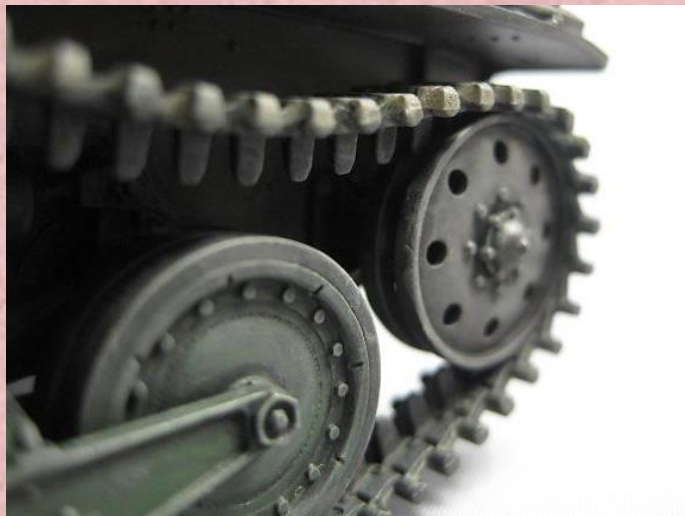
マフラーは焼鉄色を塗装した後に、パステルコンテの赤茶色を粉にして塗りつけました。土工具類は鉄部と木部を塗り分ける方も多いのですが、腐食と防錆のため塗装していたであろうと判断し、陸軍カーキ色で塗装しました。自衛隊車両の土工具も同じようにOD色か車体迷彩色の緑色を塗装しています。



履帯はフラットブラックで塗装して、ウェザリングスティックのダークアースを水で溶いて塗りたくり、乾いた後拭き取ると同時に平筆でドライブラシ(少量の塗料を筆につけて軽くこすり付ける事)しました。ワイヤーはGSIクレオスのメタルカラーのダークアイアンで塗り、綿棒で擦って磨いて金属感を出しています。



履帯の表面やセンターガイドには鉛筆芯の粉を擦りつけ、金属の磨耗を表現しています。写真では分からないかも・・・



工具箱の南京錠！エッチングパーツで作るのですが、これがまた細かい！しかもそれをまたエッチングパーツで作った工具箱留め具に通すって…疲れます。でも、出来上がったときの達成感(笑) 車体後部の誘導輪も、履帯同様に金属が磨り減った感を出すために鉛筆の芯の粉を擦り付けてます。



戦車兵のフィギュアはファインモールド社から出された日本戦車兵セット1より、ノモンハン戦当時に使用されていた立襟の昭5式軍衣のものを使用しました。戦闘中を想定して顔のみ半分出した状態で固定してみました。顔はスミ入れて表現しました。目のモールドが細くて…描けましょーん！



で、ノモンハンで戦ったロシアのBT-7戦車と戦わせて見る。

「操縦手、速度増せ！前方戦車！徹甲撃て！！」

「ドカーン！！次弾装填！敵の主陣地に突っ込むぞ！前方機銃手、敵兵を撃ちまくれえ～！」

しばし戦場に思いを馳せる48歳でした(笑)

実際の日本軍戦車はやられっぱなしだったみたいでしたけど……



気がつきゃ、同じ戦車をこんなに作っているという(笑) でも、みんな違う形なんですよ。

前列左:ノモンハン戦仕様、前列右:海軍陸戦隊仕様(ファインモールド社)、後列左南方仕様(ドラゴン社)、後列中:南方仕様(ファインモールド社)、後列右:指揮戦車(ファインモールド社)

娘「こんなに同じ戦車作って飽きないの？ぜんぜん価値が分からないんだけど……」

私「え、違うじゃん！この戦車はここがこうなってこうだろう？で、こっちは……」

娘「さーて、勉強しようかな。」

冬の夜長はふけていく……

それでは皆さん、また見てくださいね～！今年もよろしくう～！！